

コミュニティエンパワメント への支援

～地域力を活かして、主体的な活動へ～

甲賀市水口地域包括支援センター
竜王真紀

問題提起

- ❁ 地域包括支援センター業務の中にある地域におけるネットワーク構築がある。ゴールは、コミュニティがエンパワメントされ、自らが健康課題や地域課題を解決できる力をつけること。

目的

- ❁ 健康な地域づくりを目標に「いきいき百歳体操」を展開
- ❁ センターと地域のかかわりを振り返り、地域の活動の自発性と力強さを育て、地域がエンパワメントするために包括支援センターが果たす役割を検証する。

方 法

- ❁ 平成22年7月～11月まで行った
- ❁ 1学区W地区での支援を3段階に分けて振り返った。
- ❁ **1** センターから地域に働きかけた時期
- ❁ **2** 地域とセンターがともに動いた時期
- ❁ **3** 地域が主体となった時期

対象地区：I地区のあるW学区の背景

着目したデータ	他の地区に比べての特徴	考えられること
①人口動態 高齢化率 世帯状況	人口 I学区2995人 高齢化率 I学区21.2%(M町17.4%) 世帯数 I学区 911人 独居高齢者数 23人	高齢化率が高いことから、住民自身の介護予防に対する意識が必要。
②介護認定率と相談率	要介護認定率 I学区 15.77% 要支援認定率 I学区 18.30% 相談率 I学区 18.3% W地区3.0%	重度になってからの、介護保険申請や相談の傾向ある。認定を受けても、サービスに結びついていない。
③フォーマルサービスとインフォーマルサービス、地域資源	診療所1箇所、介護予防のサークルやW地区には、サロンなし〔M町 箇所のサロン活発〕、交通機関は、バス鉄道までに自家用車が必要。 地域福祉社会活動が活発	介護予防のサロンなどが無いのは、どうしてか？

地域包括ケアとは、(業務マニュアルより)

**地域包括支援センターは、(中略)多職種
が力を合わせ、その専門知識や技能を
互いに活かしながら、地域での各種の
サービスや住民活動を結びつけ、地域
のネットワークを構築あるいは再生す
る機関である。**

地域包括支援センターと地域が協働で動いた時期

体操を地域で
取り組むかどうか
は地域の判断です

包括支援
センター

つかず離れずの関係



対

話

漫画とかの
チラシがほしいな

自分たちも
人集めするわ

前向きに考えて
いきたい

わかりやすい
縮小版がほしい

地域・住民

楽しんで健康になりたい。

チラシを作ろうと
思っているので、手伝って
ほしい

地域の運動会で
自分たちで啓発

セルフエフィカシー (自己効力感) self-efficacy

❁ 人が特定の行動を取れるという思い。
特定の行動への自信。(自分が望む結果をうるための行動を自分がうまくやれるという自信)



❁ 「自分はうまくできる。乗り切れる。やっ
ていける」

まとめ

**(コミュニティがエンパワメントされるために
地域包括支援センターが果たす役割)**

- ①準備段階から住民が参加し、目的を共有し
自分たちでできる場所や機会の設定をする。**
- ②パートナーとしての「対話」を大切にし、楽しむ。**
- ③地域の住民の力を信じ、見守り、必要に応じて
支援ができる体制をとる。**

ご清聴ありがとうございました

